

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2009-196201(P2009-196201A)

【公開日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-035

【出願番号】特願2008-39914(P2008-39914)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/17 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液体噴射装置であって、

第1の電気デバイスを有する第1の液体容器と、

前記第1の液体容器を装着可能な容器装着部と、

前記第1の液体容器が前記容器装着部に装着された状態において前記第1の電気デバイスに電気的に接続される第1の配線と、

前記第1の配線を介して、前記第1の電気デバイスと信号のやりとりをする制御回路と、前記制御回路が前記第1の電気デバイスと信号のやりとりを行っていないとき、前記第1の配線を一定の電位に接続する第1のスイッチと、

を備える、液体噴射装置。

【請求項2】

請求項1に記載の液体噴射装置において、

前記液体噴射装置は、さらに、

前記容器装着部に装着可能な第2の電気デバイスを有する第2の液体容器と、

前記第2の液体容器が前記容器装着部に装着された状態において前記第2の電気デバイスに電気的に接続される第2の配線と、を備え、

前記制御回路は、前記第2の配線を介して前記第2の電気デバイスとの間で信号のやりとりを実行可能であり、

前記制御回路が前記第2の配線を介して前記第2の電気デバイスと前記信号のやりとりを行っている期間において、前記第1のスイッチは前記第1の配線を前記一定の電位に接続するようオン状態となる、液体噴射装置。

【請求項3】

請求項2に記載の液体噴射装置は、さらに、

前記制御回路が第1の配線を介して前記第1の電気デバイスと前記信号のやりとりを行っている期間において、前記第2の配線を前記一定の電位に接続する第2のスイッチを備える、液体噴射装置。

【請求項4】

請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の液体噴射装置において、

前記第1の電気デバイスは、発振装置を含む、液体噴射装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の液体噴射装置において、
前記発振装置は、圧電素子を含む、液体噴射装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】液体噴射装置